

重点目標3 かおり高い文化を育てるために

個別目標1 芸術・文化活動の振興

基本方針

心の豊かさを実感できる芸術・文化活動の振興を図るため、優れた芸術・文化にふれあう機会を拡充するとともに、地域の特色ある芸術・文化を育成し、市民の芸術・文化活動の活発化を促進します。

また、地域に根付いた質の高い芸術・文化活動の振興を図るため、文化拠点施設の効果的な活用や、活動に関する情報提供を行うなど、より多くの市民が芸術・文化に親しむことのできる環境の整備を進めます。

10年後のまちの姿

- 多くの市民が優れた芸術・文化に親しむ環境が整備されています。
- 市民の自主的な芸術・文化活動が活性化しています。

現状と課題

生活水準の向上や余暇時間の増大に伴って、市民の芸術・文化活動に対する関心は高まり、市民が芸術・文化を享受し、創作活動等への参加意識の向上と意欲の高まりが見られます。こうした芸術・文化活動は、生活に潤いや安らぎをもたらし、心豊かで活力ある社会を構築していく上で非常に重要な役割を担っています。

本市では、(財)光市文化振興会を中心として、各種の文化活動が活発に展開されており、市民ホールや文化センター、ふるさと郷土館等において、市民講座やコンサートなど、市民文化向上に向けた自主事業や「光の文化を高める会」による文化

活動が展開されてきました。

また、「光文化協会」を中心として、市内の多くの自主的な活動団体等の支援や育成を進めるとともに、公民館等を中心とした地域に根ざした文化活動が展開されてきましたが、平成18年11月に開催された国民文化祭を契機として、市民の文化活動へのさらなる機運が高まりをみせています。

今後は、こうした取組みをさらに充実していくとともに、新たな文化関係団体の育成や活動の場を創出し、市民の自主的な参加を促進していくことにより、芸術・文化活動を通じて地域や市民同士の文化交流を深めることが重要です。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①文化施設の年間総利用者数(年度)	87,171人	92,000人	96,000人
②「文化・芸術活動の振興」に関する満足度	17.7%	20.0%	30.0%

※指標① 文化施設(文化センター、市民ホール、ふるさと郷土館) 指標② 市民アンケート調査

施策展開の方向

芸術・文化活動の振興

- ◇市民の芸術・文化活動の活性化
- ◇芸術・文化にふれる機会の充実
- ◇文化施設の利用促進と環境整備

(1) 市民の芸術・文化活動の活性化

市民の芸術・文化活動に関する関心を高め、活動機会の拡充を図るとともに、各種芸術・文化活動の情報提供や啓発活動の充実を図ります。

また、市民の自主的な活動への支援を行い、芸術・文化団体や指導者、さらには活動を担う人材の育成に努めます。

(2) 芸術・文化にふれる機会の充実

市民の多様なニーズに対応し、身近に親しむことができるよう、芸術・文化団体等と連携し、各種文化講座の充実や、優れた芸術・文化にふれることのできるイベントを企画し、開催します。

(3) 文化施設の利用促進と環境整備

市民ホールや文化センター、さらには地域での拠点となる公民館等を効果的に活用し、各種芸術・文化活動を促進するとともに、良好な施設の維持管理に努めます。

また、本市の高度な情報通信基盤の積極的な活用により、市民が芸術・文化活動に関する情報が入手しやすい環境の整備を進めるとともに、施設利用などの促進を図ります。

主要な施策・事業例

	前期					後期	担 当
	19	20	21	22	23	24-28	
地域における芸術・文化活動の支援						→	文化振興課
芸術・文化活動に関する各種情報の提供						→	文化振興課
芸術・文化鑑賞機会の提供						→	文化振興課
文化団体への活動支援						→	文化振興課
市民参加型の芸術・文化活動の企画・開催						→	文化振興課
市民ホール、文化センター等の整備・充実						→	文化振興課



重点目標3 かおり高い文化を育てるために

個別目標2 地域文化の保存・継承

基本方針

古くから守られてきた地域の文化財・伝統芸能・伝統行事・祭り等について、体験学習や普及啓発活動などにより、広く市民に周知を図り、市民と地域との協働により、地域文化の保存と継承、後継者の育成に努めます。

また、石城山神籠石を活用し、同様の史跡を有する関係市町と連携を図り、歴史的資源の情報発信に努めるなど、単なる保存・継承にとどまらず、まちづくりに積極的に活用します。

10年後のまちの姿

- 地域の伝統行事や祭りへの参加者が増えています。
- 市民の文化財・伝統芸能等の保存・継承意識が高まり、若者へ継承されています。
- 市内に点在する史跡や文化財を活かしたまちづくりが進んでいます。

現状と課題

本市には、先人から受け継いだ国指定史跡の石城山神籠石、国指定重要文化財の石城神社本殿や賀茂神社の銅鐘、島田人形浄瑠璃芝居など、貴重な有形・無形の文化財を有するとともに、市内各所において、東荷神舞や早長八幡宮の秋祭りなど、地域に根ざした伝統芸能や伝統的祭りも人々の手により、その歴史とともに現代に引き継がれています。

これまでも、こうした文化財や伝統芸能などの保存・継承に努めてきましたが、今後とも、市民の

理解を深められるよう普及啓発に努めるとともに、主要な文化財の調査や保存と活用に努めるなど、本市の貴重な財産を次世代へ引き継いでいくための積極的な取組みが求められています。

特に、少子高齢化の進行に伴い、こうした地域文化や歴史を継承していくための後継者の育成を進めるとともに、地域住民との協働や関係団体との連携を図り、より多くの市民がふるさとの歴史に興味や愛着を持てるような取組みを進め、保存・継承していくことが求められています。

まちづくりの指標

まちづくりの指標	近況値 (平成17年)	前期目標 (平成23年)	参考値 (平成28年)
①地域の行事や祭りに積極的に参加している人の割合	42.8%	50.0%	60.0%
②「文化財の保存・活用」に関する満足度	17.5%	20.0%	30.0%

※指標①② 市民アンケート調査

施策展開の方向

地域文化の保存・継承

- ◇文化財・歴史的資源の保存・継承
- ◇伝統芸能や祭りの保存・継承
- ◇文化財・伝統芸能等の活用

(1) 文化財・歴史的資源の保存・継承

多様な地域の文化財や歴史的資源の積極的・継続的な発掘保存を図るとともに、資料の収集と保存等に努め、郷土史研究グループ等との連携のもと、調査・研究を進めます。

また、保護意識を高めるため、多様な普及啓発活動を推進します。

また、学校等との連携のもと、体験学習などの機会を積極的に活用し、次世代を担う子どもたちに、地域の伝統芸能等にふれる機会を創出します。

(2) 伝統芸能や祭りの保存・継承

地域と協働して、地域の特色ある伝統芸能の保存に向けた後継者の育成支援や、地域に密着した伝統的な祭りの保存・継承を図るとともに、市内に点在する伝統芸能・文化等のネットワーク化を図り、地域コミュニティの活性化や地域間の連携と人的交流を促進します。

(3) 文化財・伝統芸能等の活用

文化財の保存・公開を行う文化センターやふるさと郷土館、歴史民俗資料館等の効果的な活用とネットワーク化を推進するとともに、講演会や講座等を開催することにより、文化財や伝統芸能等についての保存と継承意識の醸成に努めます。

また、石城山神籠石を活用した「神籠石サミット」など、単なる保存・継承にとどまらず、まちづくりに積極的に活用することにより、意識の高揚を図ります。

主要な施策・事業例

	前期					後期 24-28	担 当
	19	20	21	22	23		
石城山神籠石保存・管理	調査・検討						文化振興課
文化財・伝統芸能等を活用した事業の実施 (神籠石サミット等)							文化振興課
文化財の発掘及び調査研究							文化振興課
文化財・歴史資料の保存・保護							文化振興課
伝統芸能の後継者の育成							文化振興課 地域づくり推進課
伝統行事・祭りの継承と情報発信							文化振興課 地域づくり推進課